

ケアマネジャー向けACP研修会

居宅・施設のケアマネジャーなどが対象です

ACPをはじめて学ぶ、何を話せばいいかが分かる、そんな気軽な研修です



昨年ケアマネジャーを対象に実施したACPへの取り組みや取り組みづらさについての調査の結果、35.8%ケアマネジャーがACPを実施していました。またACPを開始すべき時期について61.5%が「健康なうち」からと回答しています。そこでACPはどのような話し合いでよいか、病状の安定期から最終段階までの話し合いのレベルを学びます。

日時：令和7年**12月19日(金)** 15:00～17:00

場所：北見市役所 5階 505会議室・入札室

対象：北見市、美幌町、津別町、訓子府町、置戸町に勤務する、居宅または施設の介護支援専門員、医療機関や在宅における看護師やリハビリなど多職種の方

定員：会場40名＋オンライン100名（先着順）

◆ **実践報告：** 居宅や施設の現場のケアマネジャー取り組み

- 1) 北見市社会福祉協議会 中央地区居宅介護支援事業所 木幡 李香さん
- 2) オホーツク海病院指定居宅介護支援事業所 山口 孝さん
- 3) 特別養護老人ホームこもれびの里 山川 大介さん

◆ **講義：** よくある ACPへの誤解とケアマネジャーが実施すべき対話

講師 北見赤十字病院 看護副部長 慢性疾患看護専門看護師 寺山 葉子さん

要旨： ACPはどのような医療やケアを受けたいかという本人の意思の話し合いですが、どこで亡くなるか気管挿管をするかどうかなどの「結果や結論」に指向しがちです。そこでACPをするとは具体的にどのような話し合いでよいのかについて講義を行います。病状の安定期から最終段階までの話し合いのレベルを学びます。

◆ **意見交換：** テーマ 退院時看護サマリーを活用した地域におけるACP推進を考える（予定）

病状の安定時期にケアマネジャーからACPを利用者へ提案することは難しいかもしれません。であれば誤嚥性肺炎などの疾患で医療機関へ入院した際、病棟看護師の提案によりACPを開始するという方法もあるでしょう。また入院中にACPを仕上げるのではなく、退院後にケアマネジャーやかかりつけ医と話し合いを開始するといった提案、きっかけなどの可能性やその方法について意見交換を行います。

◆ **実施主体**

在宅医療・救急医療ワーキングチーム会議（北見市医療・介護連携支援センター）、北見地域多職種連携チーム、北見赤十字病院、北見地域介護支援専門員連絡協議会、北見在宅医療圏連携拠点センター

◆ **お問い合わせ・申し込み 締め切り：** 令和7年12月12日(金) 定員になり次第締め切ります

申し込み：下記のURLまたは右記のQRコードにてオンラインにて申し込みください

<https://forms.gle/x53kAv4D9U2jMfJu9> ⇐(Ctrlキーを押しながらクリック)

お問い合わせ：北見市医療・介護連携支援センター 関 Tel 0157-51-1244

